

バクスミー[®]点鼻粉末剤 適正使用のためのお知らせ

監修：新潟薬科大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター センター長 教授 朝倉 俊成 先生

バクスミー[®]点鼻粉末剤（以下：バクスミー[®]）は低血糖時の救急治療剤として用いるグルカゴン製剤です。バクスミーの使用が想定される低血糖が頻回に起きることは少ないですが、だからこそ万が一の場合に間違なく適正に使用いただけるように日頃より下記の点にご留意頂き、先生方からご紹介頂けましたら幸いです。

- バクスミーは1回使い切り製剤です。
事前に「バクスミー[®]点鼻粉末剤使用の手引き」と「デモキット※」を用いて操作方法を説明してください。

操作手順はこちらでも
ご確認頂けます。

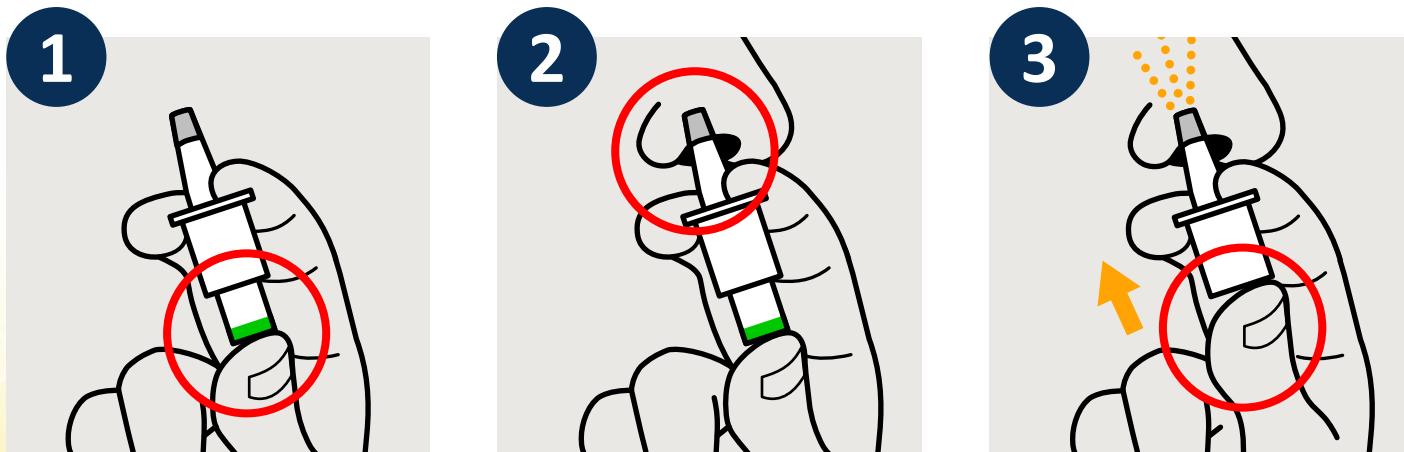


※デモキットを患者さんが持ち帰らないようにご留意ください。

- 本剤噴霧時は、緑色の線が見えなくなるまで押し込むようご指導ください。
※デモキットと実際の噴霧器は仕様の違い等により注入ボタンを押す際に必要な力の強さや抵抗感に違いを感じることがございます¹⁾。感じ方には個人差があるため、緑色の線が見えなくなるまで押し込むようお伝えください。
- 緊急時に適正に投与できるように定期的な手技確認をお願い致します。

1) 朝倉俊成：グルカゴン点鼻粉末剤（バクスミー[®]）用操作用確認デモキットの動作に基づく適正な操作指導を行った際の留意点～パイロット試験報告～ くすりと糖尿病, 11(1), 28-32, 2022.

バクスミー[®]の手技確認時のポイント



このステップでは、緑の線を
ご確認して頂きましょう。
こちらが投与が出来ているか
どうかの確認の基準になります。
実際の製品では試し打ちは
しないようお伝えください。

このステップでは、実際に鼻に
製品を差し込みます。
人差し指又は中指が鼻に
当たるまで、点鼻容器の先端
を片方の鼻の穴にゆっくり差し
込む必要があります。

注入ボタンは少し引っかかりを
感じても最後まで押し切って
ください。
緑色の線が見えなくなってい
ることを確認して頂きましょう。

MI-JP-BAQ-016 2024年12月作成